

株式会社ジェノミックスと資本提携（PJTコード：B2-1）
～ 第3の成長レバーの先端医療分野において再生医療領域での取り組みを開始 ～

エムスリー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：谷村 格、URL：<http://corporate.m3.com/>、以下「エムスリー」）は、「M3 先端医療戦略」の一環として株式会社ジェノミックス（本社：大阪府茨木市、代表取締役：金崎 努、URL：<http://www.genomix.co.jp/>、以下「ジェノミックス」）に対して2億円出資したことをお知らせいたします。

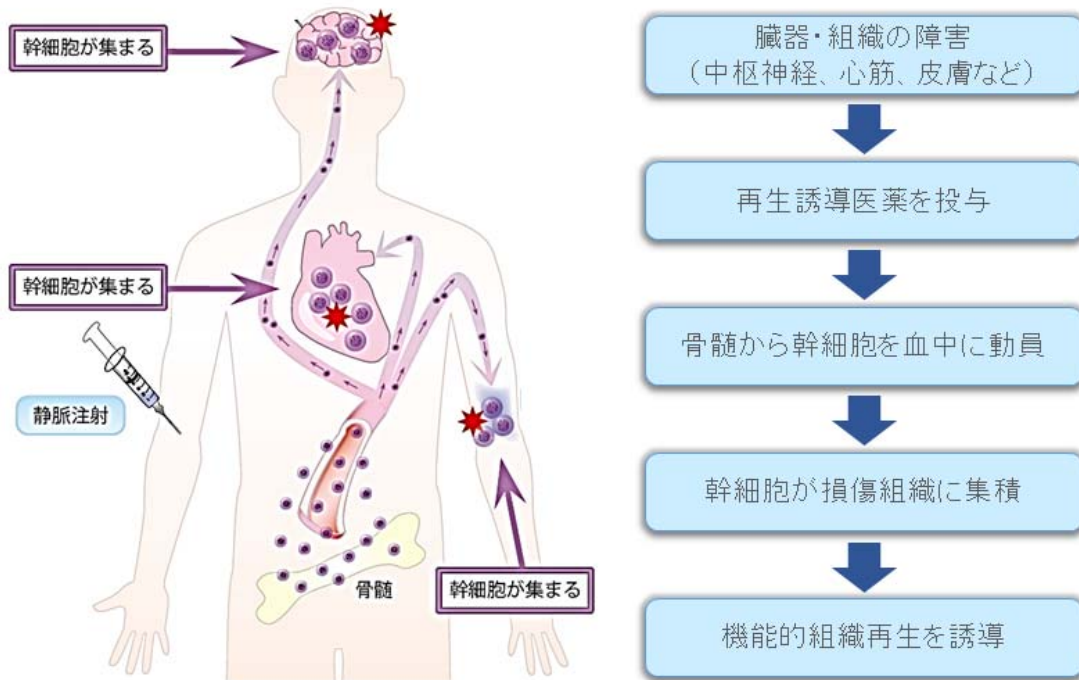
1. 背景

エムスリーは、医療従事者専門サイト「m3.com」を運営しており、25万人以上の医師会員に対し医学関連情報を配信し、製薬業界を中心にマーケティング支援サービスや治験支援サービス等を提供しております。また、日本のみならず米国、英国、フランス、中国、韓国、インドなど海外への事業展開を積極的に進めており、全世界で400万人以上の医師会員・調査パネルを有し、そのメディア力を活かした製薬会社向けマーケティング支援サービス、調査サービス、医師転職支援サービス等を展開しています。現在、新たな取り組みとして「先端医療戦略」を展開していますが、2017年9月には理研の技術シーズを製品化した人工硬膜「デュラビーム®」の国内製造販売承認を取得したことに加え、心臓外科、一般外科、血管内治療を中心とする医療機器の販売およびコンサルテーションを行うコスモテック株式会社の子会社化を発表するなど先端医療分野での事業拡大を推進しております。

このたび当社が出資したジェノミックスは、「再生誘導医薬品」を世界で唯一、開発している会社です。再生誘導医薬品は、化合物を体内に注射することで、骨髄から幹細胞の抹消血中への動員を誘導し、損傷組織を修復再生する機能を持ちます。従来の再生医療等製品と比べ、①大量生産が可能のため製造コストが安い（製造設備と品質管理が簡便）、②組織適合性が高い（自身の細胞組織を再生させるため、拒絶反応の問題がない）、③薬事分類上、再生医療等製品ではなく、化合物であるため、従来の医薬品と同じルールで対応可能という大きなメリットがあります。

本医薬品の適応症の拡大余地と潜在市場規模は1兆円以上に上ると、ジェノミックスは試算しています。

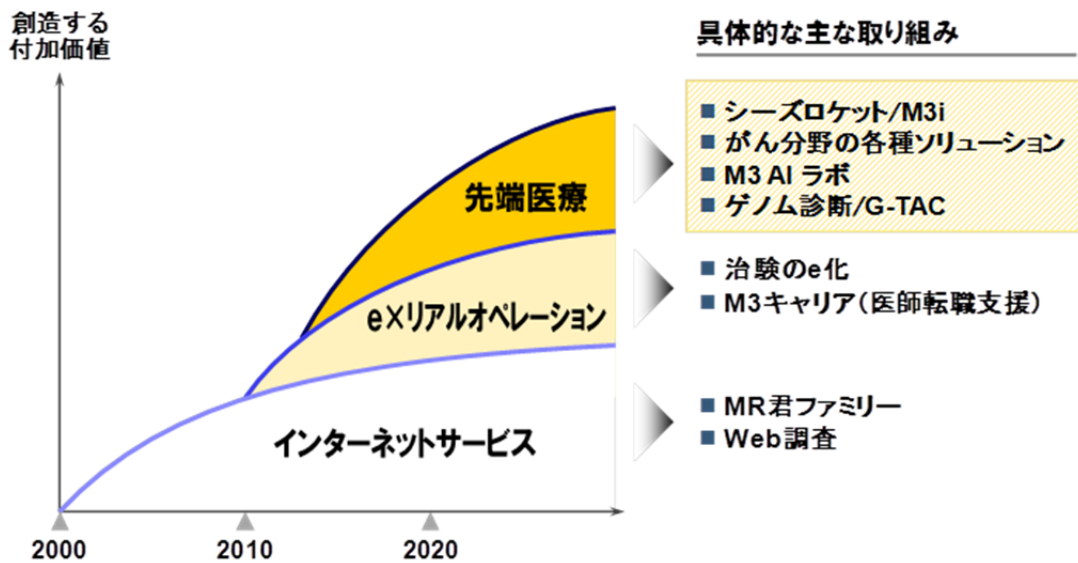
<再生誘導医薬品の作用機序のイメージ>



出所：ジェノミックス作成

<第3の成長レバー：先端医療戦略>

エムスリーでは先端医療分野への取り組みを「インターネットサービス」、「e×リアルオペレーション」に続く第3の成長レバーと位置づけています。本取組により、エムスリーは、第3の成長レバーの展開領域を再生医療に拡大します。



2. シナジー効果

想定されるシナジー効果には以下のようなものがあります。

(1) 臨床開発の支援

エムスリーグループは、治験君をはじめ、インターネットを介した臨床試験のサービス基盤を有しております。ジェノミックスの今後の臨床試験において、患者リクルーティングの加速化などを積極的に支援する予定です。

(2) 医師へのマーケティング支援

エムスリーグループは、全世界で 400 万人以上の医師会員を有しております。そのメディア力を活かし、ジェノミックスの医薬品の発売後、医師向けマーケティングを積極的に支援する予定です。

(3) 海外展開の支援

これまでの事業開発支援の経験を活かし、臨床試験やライセンス供与におけるグローバル製薬会社との交渉などを、積極的に支援する予定です。

◆ジェノミックスの会社概要

【名称】株式会社ジェノミックス

【設立】2006年10月

【所在地】大阪府茨木市彩都あさぎ 7丁目 7-15

【URL】<http://www.genomix.co.jp>

【代表取締役】金崎 努

【事業内容】「再生誘導医薬」の製品化に向けた研究開発、等

なお、本リリースより、第3の成長レバーに関するリリースにはプロジェクトコードを記載しております。プロジェクトは順次追加される予定です。

<エムスリーの先端医療戦略マップ（2017.11.17時点）>



本件に関するお問い合わせ先

エムスリー株式会社

Tel : 03-6229-8900

e-mail : pr@m3.com

担当 : 広報担当